

## 9章1節6 公共「諸問題を解決する上で法はすべてを網羅しているのか」

授業者：三浦 隆志

通年

1年生必修

本質目標	法と私たちの生活の係わりについて、社会的な見方・考え方を発揮して、多面的・多角的に考察する。(単元) 問い「諸問題を解決する上で法はすべてを網羅しているのか。」(単元)	
本質的な問い	法による紛争解決を、日常生活でどれほど(how far)認識できているのか。	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①紛争解決における法のあり方について具体的に説明することができる。</li> <li>②我々の生活における法のあり方についての概念的理解を深めることができる。</li> </ul>	
レディネス	近代の国家における法に関する知識と概念	
関連項目	立憲主義・法の支配・世論・法の制定・法の執行などの法に係わる事象に関する概念	
扱う内容	E	法による紛争解決は、日常生活でどれほど認識できているのか。
	C	紛争の解決方法を構造化する活動から身の回りにある課題を追求する。
	I	紛争やその解決方法の具体例を理解する。
達成の手立て	フレーム構成	C-1 → I-1 → C-2 → I-2 → E-1 → C-3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の復習：私的自治の原則の具体例を説明する (1)C-1：私的自治について、その具体的な内容を説明する。 (ペアワークとシェア 5分) →これまで学習してきた「社会の中での法」について整理を促す。</li> <li>・展開Ⅰ：紛争解決とその構造化 (2)I-1：紛争とその解決手段を、具体的にまとめる。(知識 5分) (3)C-2：紛争の具体的な解決手段を、シンキングツールを使って構造化してみる。 (ペアワークとシェア 5分)</li> <li>・展開Ⅱ：紛争解決とその構造化 (4)I-2：紛争とその解決手段について、具体例で確かめる。(知識 10分) 例：「イラク紛争の歴史と解決方法」「日本中世の惣村での地下検断」 (5)E-1：法による紛争解決を、日常生活でどれほど(how far)認識できているのか。 例：「法に関する国民の調査結果」等のデータ (ペアワークとシェア 10分)</li> <li>・展開Ⅲ：身近に存在する紛争解決とその課題 (5)C-3：SNSでの誹謗中傷事案に対して、法による解決決定は可能であろうか。 (ペアワークとシェア 10分)</li> <li>(5)学習のまとめとシェア(5分)</li> </ul>	

コア(論点)	生徒は、法(きまり)の概念や理解、解決方法等の運用について、小学校・中学校の社会科や道徳の時間において学習を積み重ねてきている。さらに、これまでの学習内容の発展と、公職選挙法の改正によって18歳に選挙権年齢が引き下げられたことを踏まえて、2022年からの高等学校新学習指導要領公民科では、新たな科目として「公共」が開設されることとなった。公共では、3つの大項目からなっており、本案は、Bの「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の「(ア)法制主体に関すること」で学習することを想定している。「諸問題を解決する上で法はすべてを網羅しているのか。」を軸に、本時では「様々な紛争とその解決方法について具体を理解する」とともに、「解決方法の構造化を試み、特徴を明らかにすること」(洞察を促す問い)を考察させる。この問いは「法による紛争解決を、日常生活でどれほど(how far)意識しているのか」を問うものであり、実際の「SNSでの誹謗中傷事案に対して、法による解決・決定を踏まえて、どのように課題解決を進めていけばよいのであろうか」を考えさせることがコアになっている。
振り返り	①法による課題解決をさらにどのように進めていくかを追究する必然性が生まれることを期待したい。 ②自らが法制主体の一人であることを認識することができた一方で、知識の活用や更なる知識の獲得を実感することを期待したい。
デザイン要素	新規、意外、刺激、探究、使命、協働、貢献、身体、面白、社会、持続

## 問いの構造化

	Ideas	Connections	Extensions
導入展開の問い	②私たちの身近で起こる紛争を考え、それらの解決手段を具体的に挙げてみると、どのようなものが考えられるか。	①私たちの生活の中に見られる私的自治について、その具体的な内容は、どのようなものがあるのか。	
洞察を促す問い	④具体的に歴史的、国際的な紛争とその解決の決定方法について調べ、③の決定方式マップにプロットしてみると、どのような特徴が見られるか。	③紛争を解決するための決定方法について、シンキングツールを使って、構造化されたマップを作成してみると、どのようなことがわかるか。	
本質的な問い		⑥SNSでの誹謗中傷事案に対して、法による解決・決定を踏まえてどのように課題解決を進めていけばよいのであろうか。	⑤法による紛争解決を、日常生活でどれほど(how far)意識しているのか。

## 生徒の変容

	Ideas	Connections	Extensions
教科・科目に特有の知識・技能	・具体的な紛争とその解決方法について理解をすることができた。	・具体的な紛争とその解決方法の事案について、理解をすることができた。	・具体的な紛争とその解決方法の事案を踏まえて、今後のあり方について、自己の考察を深めることができた。
教科・科目に特有の見方・考え方	・具体的な紛争とその解決方法について、多面的・多角的に理解することができた。	・具体的な紛争とその解決方法の事案について、資料の情報を活用し、多面的・多角的に理解することができた。	・具体的な紛争とその解決方法の事案について、資料の情報を活用し、多面的・多角的に理解したうえで、自己の考察を深めることができた。
汎用的な能力	・具体的な紛争とその解決方法について、資料等を活用して、多角的・多面的に検討することで、獲得された知識を社会の中で使うことができる。	・資料を活用して、多角的・多面的に検討することで、事実に関する情報を整理し、思考力を働かせて、表現することができた。	・資料を活用して、多角的・多面的に検討することで、新たな観点・尺度を持って思考力を働かせ、世の中をよくしていこうという態度が見られた。

## 評価

	Ideas	Connections	Extensions
知識・技能	A・B・C・D [ ]	A・B・C・D [ ]	A・B・C・D [ ]
見方・考え方	A・B・C・D [ ]	A・B・C・D [ ]	A・B・C・D [ ]
汎用的能力	A・B・C・D [ ]	A・B・C・D [ ]	A・B・C・D [ ]